

令和5年度聴覚障害者等支援のための理解促進事業
(宮城県委託事業)

ろう × OO × ΔΔ
ろう重複って何だ"ろう"?

『ろう重複』の暮らしのかたち



聴覚障害とそれ以外の障害があることを、私たちは「ろう重複」と呼んでいます。
ろう重複の人たちについて知ってほしいと思うのですが「こうですよ」と言い表すのが難しいので、
十人十色の暮らしのエピソードをまとめました。

私たちが伝えたいのは、コミュニケーション の大切さです。

ろう重複の人たちが発信する「ことば」から、一緒にろう重複を考えていきませんか。

「ろう重複」のろうって何？

▶ ろう(聴覚障害)

あなたは、どうやってことばが話せるようになったか覚えていますか？ 赤ちゃんのころ、お母さんやまわりの人たちが話すことばを聞いて、自然に覚えたことでしょう。そして、そのコミュニケーションを通して人間関係を築いてきたのではないのでしょうか。

ろう(聴覚障害)とは、耳に入ってきた音が脳に伝わって「音だな」とわかる経路に障害があるために、聞こえにくい、または聞こえない状態のことです。見た目では聴覚に障害があるとわかりにくく、誤解されることもあります。私たちの暮らしには「音」があふれています。聴覚障害者は「音」によって伝わる情報を受け取りづらいのです。



聴覚に障害があると、音声によるコミュニケーションが難しくなることがあります。コミュニケーションは人と人との関係の中で生じます。でも、手話や文字、身振り手振りや口のかたちを読み取るなど、音声以外にもコミュニケーションの方法はたくさんあります。



新型コロナウイルス感染症と聴覚障害者

相手の表情や口のかたちを読み取れることが、聴覚障害者のコミュニケーションではとても大切です。新型コロナウイルス感染拡大によってマスク着用が当たり前になりました。感染症の予防には欠かせないマスクですが、聴覚障害者にとって表情や口が見えず音声も聞き取りにくくなります。「マスクを取ってください」と頼みづらいこともあり、大きな壁となりました。

コミュニケーションがとりにくい場合は、筆談をしたり、フェイスシールドや透明の仕切りを作るなどの対応を試みましょう。マスク着用でも抑揚をつけてゆっくり話すとよい場合があります。

聴覚障害者災害時支援パンフレットより



聴覚障害に「重複」している部分の障害はさまざまです。聞こえの程度も様々ですが、知的障害や発達障害などにも軽度～重度などの幅があります。

▶ 知的障害

さまざまな原因で、18歳頃までに生じた知的機能の障害によって、日常生活の中で何かを判断して決めたりするときに不自由が生じます。例えば、読み込んだ文章や会話の理解が不得意だったり、計算が苦手だったりすることがあります。

▶ 発達障害

生まれつきの脳機能の障害のため、行動や情緒に特徴ある状態です。自閉症(ASD)、学習障害(LD)、注意欠如・多動性障害(AD/HD)などの種類があるとされています。社会生活や日常生活、対人関係に支障が生じることが多くあります。中には、記憶力や芸術面などで優れた能力が発揮される場合もあります。

自閉症 感覚が過敏だったり、興味・関心の対象が狭く、特定のことへのこだわりが見られたりします。

学習障害 聞く、話す、読む、書く、計算する、想像する力のうち、特定のことのみが苦手です。

AD/HD 注意力が続きにくく、あわただしい行動が目立ちます。

▶ 肢体不自由

まひなどで、手や足など身体のどこかが動かない、動かしづらい状態です。ものを持つ、話す、座る、立つ、歩くなどの運動に不自由さがあり、車いすや杖を使用する人もいます。身体のどの部分に障害があるか、またその程度はひとりひとり違います。



▶ 重症心身障害

重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態をいいます。自分の力で起き上がったり、寝返りを打ったりすることも困難な場合が多く、介助が必要です。



▶ 視覚障害

視力や視野など見る機能に障害があり、めがねなどを使っても十分な視力を得られない状態です。



「盲ろう」のこと、「盲ろう者」の暮らし
パンフレットはこちら



「ろう重複」の人の暮らし こんなこと あんなこと

ろう重複の人に会ったことはありますか？
日々の暮らし、一部をご紹介します。

もっと知りたい! エピソード集はこちら



公園で…



ふみちゃんが公園にあるブランコに乗ろうとしたら、うしろから男の子が走ってきてブランコに飛び乗りました。隣のブランコでは、数を数えながら自分の順番を待っている子どもが並んでいて、20数えると次の子どもと交代していました。

ふみちゃんはルールがわからず、数を数えられないので、男の子が飽きるまでずっと待っていました。やっと乗れたと思ったら、別の子どもが来て数を数え始めました。20数えても、ふみちゃんは楽しそうにブランコをこいでいます。

ふみちゃんは… ③ × 知



お母さんのおもい

待ちわびたブランコに乗ることができたふみ。「次の人が待ってるよ」と声をかけても、一向に降りようとしません。嫌がるふみをブランコから無理やり引きはがすようにしてやっと交代。ルールや情報が入りにくく、理解して覚えるまでかなりの時間が必要です。そのため、人がいない時間に公園を利用することが多くなりました。でも、ふみはたくさんの子供が遊んでいる公園が大好き。みんなと一緒に遊びたいのです。

地下鉄で…



ひろくんは10数年、地下鉄に乗って仕事場に通っています。他のお客さんへ近寄ったり、ハイタッチや握手を求めたりしています。駅員さんから注意されても、意味がわからず今日も元気にハイタッチ!

ひろくんは… ③ × 知



お母さんのおもい

仕事場に通うことで、社会のルールや働くことの喜び、達成感を味わってほしいと思っています。10数年も通っているので、みなさんがわかってきていると思っていましたが、転勤・通学などで毎年乗客のみなさん、駅員さんも変わります。

今は筆談をしてくれますが、聞こえず知的障害もあると、絵カードなども使ってくれればルールやマナーがわかりやすいかなと思います。

病院で…

トモさんは病院が怖いところというイメージがなかなか払拭できませんでした。お母さんと自宅でお医者さんごっこをやって“予習”しても、不安で病室に入れないことがあったり、2~3時間待たあげくに何もしないで帰宅することもありました。でも歯医者さんは大丈夫です。歯医者さんが、トモさんに治療に使う器具を見せてくれたり、触らせてくれたことがあって、トモさんは緊張がやわらいだのか、歯を見せるために口を開けられるようになりました。



トモさんは… ③ × 知



支援者のおもい

病院に連れて行くことに苦労する保護者は多いです。病室まで行けず、廊下や車内まで医師が来てくれた話も聞いたことがあります。

ろう重複の人は、自分の体調をうまく表現できないことがあります。そのため、定期的な検査がとても大切だと感じています。私たちが当たり前に行っている採血・尿検査・視力検査など、できなかつたりやっっていなかつたりするろう重複の人もいます。若い時は「医者いらず」でも、成人すると通院や健康診断が課題になると思います。

とっても大切！コミュニケーション

1 視線の先には何がある？

目は言葉よりも素直な感情を表します。今何を見ているのか、何を考えているのか、声や手話では出てこない「目のことば」、**目からの情報はとても大切**です。



支援者から

やり方を忘れたのか、やる気が出ないのか、具合が悪いのか…話しかけても、興味を示してくれません。目の動きを追ってみると、他の作業の様子に視線が向いていました。「あっちの作業をやってみる？」とたずねるとようやく反応し、興味津々で取り組み始めました！



2 表情で伝えよう

他人の視線が気になること、ありますよね。見守る視線が優しいと安心するのは誰でも同じ！

楽しいときは思いっきりの笑顔で楽しむ、**悪いことは真剣な顔**できちんと伝える、めりはりのある表情で伝えることがポイントです。



家族から

コーヒーが好きなので、カフェに行くのも楽しみのひとつ。店員さんがにこやかにメニューを渡してくれたり、やさしく見守ってくれたりするので、本人もリラックスしているみたい。



3 小さなサインが「ことば」になる

何かが気になってしまって不安になるとあごを触ったり、嬉しいことがあってつい鼻歌がでたりすること、ありますよね。言葉や表情だけでなく、体から発するサインも重要です。いつもと動きが違う、様子が違うと思ったら**何かを伝えたいサイン**かもしれません。

支援者から

一緒に遊びを共有することで、少しずつやりとりやコミュニケーションがとれるようになりました。



4 手話も取り入れてみよう

一人ひとりに合わせた手話や指文字を取り入れたら、共通の「ことば」が増えて、もっとコミュニケーションが豊かになって、気持ちを伝える幅が広がります。



家族から

一番最初に覚えた言葉は「プール」。プールが好きだったんです。次に「バス」「たんぼぼ」。身近にあること、関係のあることから覚えていきました。

支援者から

話がかみ合わず、“正解”するまで時間を費やすので大変ですが、伝えたかったことがわかると、パズルのピースがはまったかのように嬉しくなります。



ろう重複についてお気軽にご相談ください

NPO法人 そよかぜ広場

主に聴覚障害がある仲間の為に、コミュニケーション手段に配慮しながら様々な活動を経験し、豊かな生活を送れるような支援をしています。そしてろう重複障害仲間も親も安心して生活できる環境を目指しています。仙台市小規模地域活動センター そよかぜ広場作業所の運営は、**手話ができる職員**が常勤し、個に応じた支援や指導を行っています。

〒982-0003 仙台市太白区郡山3-5-32

TEL FAX 022-248-1198

Mail soyokazehiroba@gmail.com 定休 土曜日曜・祝祭日および年末年始等



UBUNTU

障害の重さや種類に左右されず、自分の生き方や夢を自分で決めて生きていける街を目指して、日々様々なことにチャレンジをし、一人ひとりの可能性を見出したり得意なことを伸ばして将来に繋げられる活動を行っています。一人ひとりに合ったコミュニケーションで関わることを大事にし、手話も普段から飛び交う環境です。

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈字赤坂7-6

TEL 022-765-7339 Mail ubuntu.sendai@gmail.com

定休 水曜日・日曜日



ブライツ仙台

聞こえない・聞こえにくい子どもたちを中心に支援する、児童発達支援・放課後等デイサービスです。「できること」「好きなこと」「得意なこと」を増やし、のびのびと成長できる環境づくりをしています。

〒982-0012 仙台市太白区長町南4-5-28 長町パークホームズ104

TEL 022-797-6155 FAX 022-797-6154

交通 仙台市営地下鉄南北線 長町南駅より徒歩5分 定休 土曜日曜・祝祭日および年末年始等



聴覚障害についてお気軽にご相談ください

「こんなときどうしたら…?」「聴覚障害について教えてほしい」「聴覚障害と防災対策を知りたい」など、聴覚障害に関するさまざまな相談に対応しています。

宮城県聴覚障害者情報センター(愛称:みみサポみやぎ)

〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3-1 みやぎハートフルセンター1階

TEL 022-393-5501 FAX 022-393-5502

Mail info@mimisuppo-miyagi.org

HP <http://www.mimisuppo-miyagi.org/>

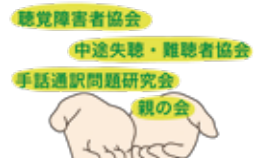
みみサポみやぎ 検索



●ホームページで聴覚障害に関連した**情報を発信**しています



●聴覚障害に関する**相談**に、手話や筆談で対応します



●県内の聴覚障害当事者団体や支援団体を**紹介**しています

令和5年度聴覚障害者等支援のための理解促進事業(宮城県委託事業)

[制作] 宮城県聴覚障害者情報センター/支援パンフレット作成検討委員会

[タイトル] そよかぜ広場 吉田 美和子さん

[イラスト] 加藤 彩香

[問合せ] 宮城県聴覚障害者情報センター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉3丁目3-1 みやぎハートフルセンター1階

電話:022-393-5501 FAX:022-393-5502 Mail:info@mimisuppo-miyagi.org

[発行] 令和6年3月

[印刷・製本] 株式会社ビー・プロ